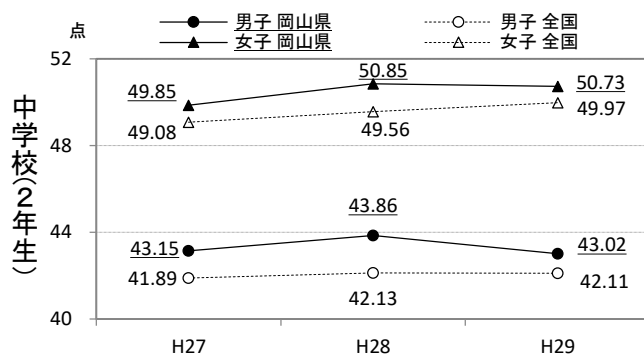
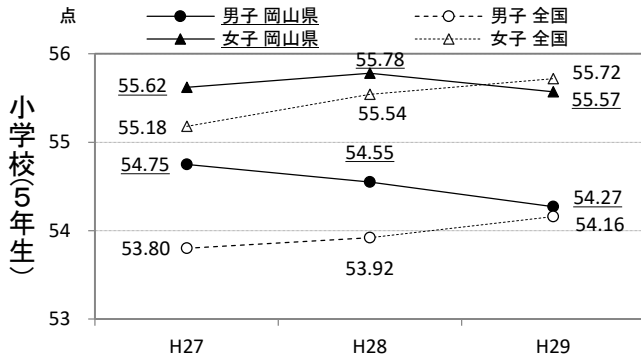


# 児童生徒の体育活動について

## 1 学校体育の充実

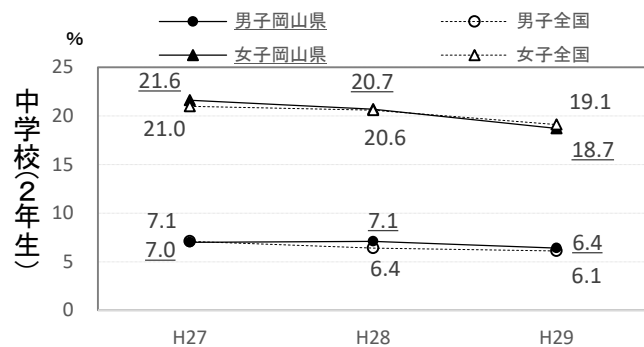
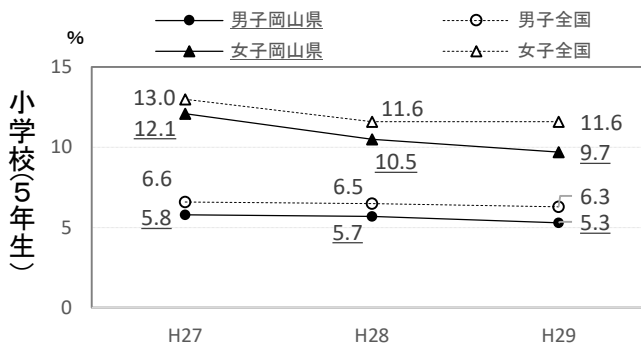
### (1) データから見る現状と課題

#### ○新体力テストの体力合計得点



全国平均と比較して概ね高い傾向にあるが、全国との差が縮まってきている。

#### ○1週間の総運動時間数が60分未満の児童生徒の割合



小・中学校の男女とも減少傾向(改善傾向)にあり、中学校男子以外は全国平均より低い。

### (2) 取組

#### ①体育授業の充実

- ・体育担当者会の開催等による、教員の指導力の向上
- ・学校体育指導資料の作成

#### ②児童生徒の体力の向上

- ・「みんなでチャレンジランキング」の実施  
(全国平均を下回っている項目に関する新種目を追加するなどの工夫)
- ・総合評価A獲得者への優秀賞のバッジ(Aバッジ)の配付



業間休みに8の字縄跳びに取り組む様子。チャレンジランキングでは、幼～高校で楽しみながら運動に取り組み、記録を競い合う。

## 2 運動部活動の充実

### (1) 岡山県「運動部活動の在り方に関する方針」の策定

- ・国のガイドラインを踏まえ、「運動部活動検討委員会」での議論等を経て策定(9月)

### (2) 指導者研修会の開催

- ・中・高等学校の運動部顧問の指導力向上を図るため、実技研修会を実施

### (3) 部活動指導員配置事業(国庫事業)

- ・全国に先駆けて部活動支援員を公立中学校に配置(H28~29)…負担軽減に効果的な配置を検証
- ・国の制度化に伴い、部活動指導員を公立中学校に配置(23市町村 109人)

### (4) 外部指導者の派遣

- ・指導者不足の解消を図るため、専門知識等を有する外部指導者を県立中・高等学校に配置(30人)